

令和元年度 学校自己評価システムシート (武南中学校)

(A3判横)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

目指す学校像	1 日々の学習学習に支えられた豊かな教養の育成 2 きめ細かな躰・生活指導による優れた人格の育成 3 グローバルリーダーとして必要な人間性と知性の育成
--------	---

重点目標	1 授業の充実・改善 2 開かれた学校づくり 3 進んで行うことができる自主性と学力の向上 4 生活指導の徹底 5 部活動・学校行事等の充実・振興
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	5名
-----	-------	----

学校自己評価							学校関係者評価		
年度目標				年度評価 (2月26日現在)			実施日 令和2年2月26日		
番号	評価項目	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	授業の充実・改善	1 基礎力 (1,2年) を身に つけさせた上での応用力 (3年) の指導 2 生徒の実態を把握し効果的な先取り教育の実施 3 総学と探求 4 生徒の興味関心を引き出し、伸ばすための授業方法の研究 5 道徳授業の充実を図り規範意識を高める	1-①教員の資質能力向上を図る研修の実施 2-①先取り教育を実施する 3-①教室訪問・授業参観を行い、よりよい学級づくり授業づくりに取り組む校風を醸成する 4-①教科としての「道徳」という意識を持たせる 5-①6年間を見通した接続の確立	○全教員の授業観察と意見交換の実施 (5,6月) ○6年間のカリキュラムの作成 ○「授業力」自己診断シートに基づく自己分析並びに他者からの助言 ○学力推移調査の結果分析 ○道徳の研究授業を行う	・最低午前1回、午後1回は校内を巡回し、授業の参観を行い気づいた点等指導している ・教科によっては6年間のシラバスが完成している。今年度中には完成させたい ・後半になり自己診断シートの活用が減っている ・結果分析をきちんと行い自学習の奨励や自習室の活用を促した ・研究授業を実施できなかった	B	・授業観察シートを活用した個別指導をさらに充実させる ・教員相互の授業研究を進め、授業実施上の課題等を共有し各自の指導力を高める ・英語教育の充実を図る (英会話の充実を図るためISA派遣講師によるコミュニケーション英語、UCDアカデミック英語Basic・Advancedの導入) ・BASL (Bunan Advanced Self Learning) の時間を確保し、生徒の振り返り力を伸ばし学力の向上を図る	・授業の様子から生徒が落ち着いていて成長しているように思う ・少人数の学校の特権として、一人一人の力を発揮させられる、より質の高い授業の展開に期待する ・教師の個人指導を充実させてほしい ・英語教育の在り方の見直しが必要である ・英語教育の充実を推進してほしい ・英語教育に関しては、生徒が楽しく興味を持てる工夫をしてもらいたい。楽しく学べることが大事	B
2	開かれた学校づくり	1 学校説明会・学校公開・入試体験会等々による教育活動の公開 2 近隣小学校との交流活動の拡充 3 組織による通年の生徒募集活動 4 教育活動の情報発信	1-①参加者増を図るため保護者塾関係者に周知する 1-②保護者対象の講座を実施 2-①小学生対象にした公開講座の実施 3-①川口・蕨・戸田・さいたま市を中心に行う 4-①HPの更新を週3回は行う	○興味関心を抱く広報を周知し学校説明会学校公開等の実施 ○月1回の中学校便りを蕨市教委・市内小中学校・市内公民館に配布 ○生徒による小学生の指導 ○広報を中心とした募集活動 ○学年・クラス通信の発行とリアルタイムでのHP更新	・説明会参加者及び受験者は増え、入学者も徐々に増加している ・毎月の中学校便りは欠かさずことなく配布している ・塚越小の運動会が午前で終了することになったので交流ができていない ・HPやポータルサイトの更新は増えたが更なる努力が必要	B	・学校だよりの配布により、説明会等の参加者が増えてきている。公共機関にはカラー刷りを配布したい ・管理職による塾訪問の回数を増やす ・HPの更新が週に3回行うことができなかったため広報担当に必ず更新させる ・小学生対象の各種体験会を実施する	・様々な工夫と努力で広報され、受験者の増加につながり評価できる ・卒業生の進路実績が塾へのアピールになった。今後も期待している ・塚越小、東小を対象に武南中学の見学会をやってみてはどうか ・学校の設備が充実しているのもより多くの小学生に訪問してもらえる工夫をするとよい	B
3	進んで行うことができる自主性と学力の向上	1 学習時間の確保を学校全体で取り組む 2 朝読書・BASLを確実に実施 3 予習・復習を計画的に行い学力向上を目指す 4 基礎学力を身に付けさせるための授業時間確保	1-①小さな時間を積み上げて確保させる 2-①生徒だけではなく学校全体で朝読書を行う 2-②BASLの時間を確実に確保し一日の反省と明日への準備をさせる 3-①長期休業中に実施する講習は、現状分析を行い学力向上を図る 4-①予習・復習の奨励と学習時間の確保 4-②特任教諭の活用	○学校での学習、家庭学習を積み上げて学習時間を確保 ○日常的に中学での学習 (量、スピード、質) を指導する ○スタディサプリの活用 ○生徒による規範意識向上の取り組み ○自習室の使用度	・早朝の自学習等々、小さな時間の積み上げが大切であることを全教職員で指導している (スタディサプリの活用) ・HR宿舎、Englishキャンプを実施したが学習宿舎はオリンピックの関係で実施できなかった ・2年のアジア研修では事前学習を有効的に行っているが今年度はコロナウイルス等々で来年度に延期 ・特任教諭を活用し、自習室を積極的に使用するようになった	B	・中学生としての学習方法を確実に身につけさせる ・家庭学習をはじめ学年+1時間の自学習を毎日行わせる ・高校進級時の進級テスト (併Iの入試問題) で好成績を取るようにする ・特任教諭のさらなる活用方法を研究し、放課後の自学習を支援させる	・小さな時間の積み重ねの結果を奨励しながら楽しく学習できるとよい ・興味を引くようなイベントや教科以外の催し等で個々の特性を伸ばし学力向上につなげてほしい ・自学習ができる力。これこそが学力を伸ばす一番のポイントだと思う	B
4	生活指導の徹底	1 生徒の課題を把握して問題行動の予防に努める 2 凡事徹底により、規範意識を高める 3 挨拶の励行	1-①教職員の共通認識による攻めの生徒指導を徹底する 2-①授業に取組む意識の向上を図る 2-②時間を守る・服装を正す等々繰返し指導を行う 3-①挨拶をすることにより、自己の存在をアピールさせる	○登下校の指導を行う ○個々の教師に負担がかからないよう問題を共有し学校全体で取り組む ○挨拶が届けられるよう教職員が率先して行う	・教師の協体制度が構築できてきた ・毎週金曜日に行う中学校の会議で報告連絡等滞りなく実施した ・凡事徹底を教職員が率先垂範するよう指導している ・生徒指導上の保護者対応については管理職も積極的に参加した	B	・凡事徹底を強化し、生活規律・学習規律を高める ・事後処理の指導ではなく攻めの生徒指導を行うようにさせる ・清掃指導等の徹底	・教師、生徒共に基本的な凡事徹底の強化が課題 ・あいさつは「大きな声で明るく」引き続き指導してほしい ・規律面の強化は大切だと思う ・掃除はすみずみまでやるように指導する	B
5	部活動・学校行事等の充実・振興	1 部活動の時間の確保 2 委員会活動を奨励して自治意識を育てる 3 生徒の意識を高める学校	1-①活動時間を確実に確保する 2-①協力することにより個々を磨く場とする 2-②地域に貢献できる生徒会活動 2-③高校生の規範意識を学ぶ 3-①生徒会活動の充実	○優れた活動・成績をあげた生徒を顕彰する ○クリーングリーン作戦を学期に1回実施する ○高校生との活動を実施し母校愛を育てる	・協力してくれる高校の部活動が増えてきた ・朝礼等の時間に各種の賞に輝いた生徒を全校の前で顕彰している ・クリーン作戦を実施した	B	・高校生と共に活動できる部活動を増やす ・学校行事に生徒が主体的に取り組めるよう生徒会を指導する ・各委員会活動を活性化し生徒による自治ができるようにさせる ・パラリンピックを全校生徒で見学	・勉強ができる子、スポーツができる子。文科系が得意な子等々様々な子供たちがいるとお互いにいい刺激になるのではと思う ・さらなる部活動の充実を期待する ・一人一人の可能性を伸ばしてほしい	B